

E Z - W I N総合評価シート 2020.07.25 新潟11R G3アイビスSD 芝千直 別定 15:45 想定RP指数49-51.5 AV.48.8 勝負レー

枠番	馬番	馬名	性別	負担重	予想人気	調教偏差値S	調教偏差値A	パターン評価☆	自己最高値更新	前走比偏差値up	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レシビ	最高補正指数	RP指数好走レンジ		RPアベレージ	総合評価点数
	1	ノーワン	牝4	54	12						D	16,1	16,3	12,9	37	16						100	49.7	49.7	49.7	24
△	1	ラブカンパー	牝5	56	8							1,5	4,10		22	37					短	109	43.5	52.2	47.9	32
	2	ワンアフター	牡7	56	15							11,3	9,16	14,6	0	6						105	44.6	53.9	49.3	17
×	2	カップツハッチ	牝5	54	5						B	6,9	2,14	3,9	28	25						105	45.1	51.1	48.1	16
	3	ナランフレグ	牡4	56	2							15,1	12,4	18,1	0	44						109	46.6	51.8	49.2	23
	3	ナインテイルズ	牡9	56	14							13,7	1,11	1,16	0	6					短	97	43.8	52.2	48.0	18
×	4	レジーナフォルテ	牝6	54	13							3,14	4,9	1,7	0	6	\$	\$				107	43.4	50.9	47.2	29
△	4	ダイメイプリンセス	牝7	56	3						D	10,2	15,14	12,3	25	25	\$					111	42.1	52.2	47.2	26
	5	ジョーカナチャン	牝5	54	4	C					B	1,6	1,10	1,8	70	25						108	50.0	51.7	50.9	33
△	5	イベリス	牝4	54	7	C					C	2,14	11,16	4,11	9	16					短	107	47.9	54.3	51.1	23
☆	6	アユツリオヤジ	牡6	56	11							1,3	1,13	1,15	14	16					短	111	48.6	48.6	48.6	21
	6	ビリーバー	牝5	54	9							8,5	14,2	1,10	0	16						104	43.6	52.7	48.2	17
○	7	ライオンボス	牡5	57	1							2,4	1,12	1,10	66	44						107	48.8	53.6	51.2	29
▲	7	ゴールドクイーン	牝5	56	6	C					C	地G2	1,13	地G1	0	16						116	49.4	49.7	49.6	16
★	7	モンペルデュ	牝4	54	10	C						1,16	中止	1,3	13	16	\$			短	111	47.0	48.8	47.9	23	
◎	8	クールティアラ	牝4	54	16				*	注		5,8	13,16	1,17	20	2	\$				102	44.4	51.7	48.1	26	
×	8	メイショウカズヒメ	牝6	54	17	D						7,15	10,13	13,4	40	6	\$				102	44.0	50.0	47.0	18	
×	8	ミキノドラマー	牡7	56	18							7,16	13,6	12,3	13	6	\$				103	47.7	51.7	49.7	23	

重い印を回す予定でいたレジーナフォルテが得意の外枠を引けず・・・(>\_<)無念

**16番クールティアラ**は両親共に米国型ミスプロ系。

父のアルデバランは母父にダマスカスを持つ種牡馬。

当レース3着のレジーナフォルテも同じアルデバラン産駒。

母父のケイムホームはスピード系ゴーンウエスト直仔で、

ゴーンウエストは母父がボールドルーラー系の大種牡馬セクレタリアト

祖母の父もミスプロ系で、ミスプロの多重クロスを持っている

ダマスカス+ボールドルーラーの血を持つ馬

3勝クラスの千直を勝ち、前走はクラスにめどが立ったと判断できる内容。

今回は調整も順調で、過去最高の調教偏差値を更新し、

鞍上を、当コースで最も連対率の高い(20騎乗で50%)石橋殿に

スイッチしてきたあたりに陣営の本気度がのぞいておるような気がしますな。

気合の鞍で、見事に外枠を引いた幸運に一枚乗っておきます。

相手は**13番ライオンボス**が筆頭で仕方ないでしょうなあ・・・

上位人気で不安があるのは**9番ジョーカナチャン**

今回はナインテイルズ、ラブカンパーというテンの速い馬がおり

ジョーカナチャンのスピードではハナに立つのは難しそう。

ロードカナロア産駒の上位人気馬は3勝クラス以下では強いものの

OPクラスではほとんど通用せず、本馬の血統構成を見る限り

OPクラスで通用するには物足りない配合ですな。

タメで切れる脚は持っておらず、前に行って押切にかかる競馬が本領のタイプで、ハナに立てなければ脆さを見せる可能性は考えておかねばなりません。

▲14番ゴールドクイーンは、能力だけならここでは抜けた存在。若いころは芝でも重賞勝ちがあるように芝適性は実証済み。ですが、米国型のダート専用血統で若いころに芝で走った馬は、古馬になると芝で通用するスピードを生み出す「しなやかさ」を失くしパワーに特化していく傾向があり、今回は半信半疑。若いころと同等以上に芝適性を残して居れば、あっさりもありそう。

サウスヴィグラス産駒の11番アユ釣りおやじに、あれほどの芝適性があったのは、新鮮な驚きでございましたな。ただ今回は、休み明けで激走した後の叩き2走目。反動が心配な部分ではございますが、人气的に面白いのでしっかり押さえておきたいところ。

イベリスとモンパルデュについては、ブログのレポートに書いた通り変わりなく期待しております。

馬券は3連複2頭軸流し

◎○一印

ワイド流し6点

◎ー▲★☆△